



学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価いただいた内容については学校全体で真摯に受け止め、学校発展のための努力を重ねてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

## 群馬県立藤岡北高等学校 学校評価一覧表② (平成31年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①地域との交流や地域への貢献を目的とした活動や行事等に生徒の85%以上が満足している。	B	B	B	活動の目的を意識させるとともに、生徒が主体的に活動に取り組めるよう工夫をする。 継続的に活動を実践するとともに、研究活動の大切さや意義を意識させ、専門学習の深化に結びつける。	・目標値を高く設定したため、厳しい評価になっている。地域への貢献度は高く、今後も継続して欲しい。 ・地域への見える化活動がしっかりと保たれている。 ・農業クラブ活動に生徒達は意欲的に取り組んでいる。今後も継続して欲しい。 ・競技会等での受賞は生徒のモチベーションの向上に繋がり今後に期待できる。	・交流活動を進めるに当たり、生徒が自主的に意欲を持って取り組めるよう事前指導を始め内容の工夫や精選を図りたい。 ・各専門部の継続的な活動を実践するとともに、研究活動の意義を認識させ、専門学習の深化に結びつけたい。
		②農業クラブ主催の各種発表会・各種競技大会や各種のコンテストなどで4種目以上入賞する。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と75%の生徒が答えている。	A	A	A	生徒理解に努めるとともに生徒が主体的な学習活動に向けた授業改善を継続した。また、授業中の生徒指導を充実させ、落ち着いた雰囲気での授業展開に努めた。 生徒の将来や専門性を高めるために必要な資格、検定を生徒及び保護者に分かりやすく明示し、主体的な資格取得への働きかけを行った。	・先生方は工夫して授業をしている。今後も基礎基本を指導して欲しい。 ・以前よりも資格取得に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。生徒が挑戦しやすい環境をつくって欲しい。 ・生徒への動機付けをしっかりとした方が良いのではないかと。 ・生徒の意欲を高める指導法の改善が必要である。	・生徒の意欲を高められるように、講義形式だけでなく、探究的な学習や課題解決学習を展開できるよう授業改善する必要がある。 ・生徒が資格を取得し、達成感を得ることで積極的な専門学習や進路実現に向けた活動に発展するよう指導方法を工夫する。 ・「朝学習の時間」の教材や指導方法を改善し、生徒が学力やスキルが身に付いたと実感できるとともに学習から得られる充実感を感じる授業や教育活動を実践する。
		②資格取得に向けた指導に、生徒の70%以上が満足している。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	授業や「朝学習の時間」の学習に対して、意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒が、70%以上である。	B	C	C	生徒が学習に対して、意欲的に取り組むような授業の展開や身近な教材の活用などを工夫し、生徒及び職員が学習成果を実感できる指導が求められる。	・「朝学習の時間」がマンネリ化しているのではないかと。 ・生徒が学力やスキルが身に付いたと実感できるとともに学習から得られる充実感を感じる授業や教育活動を実践する。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	A	A	A	職員会議において、生徒の情報交換を月一回、学年会議などでも情報交換が習慣化している。さらにきめ細やかな情報交換を生徒指導に役立てたい。 身だしなみ指導が継続してできている。しかし、学年ごとの温度差が見られるので共通認識を再度確認する。また、進路を絡めた挨拶指導を継続する。	・職員間だけでなく、生徒と先生との情報共有もできているように感じている。 ・現在も積極的に挨拶をする生徒が多いと感じている。社会人としての基本が身だしなみ・挨拶であるとして生徒に自覚させられるような指導をお願いしたい。 ・遅刻が2学期になり減少していることから意識していると感じる。 ・遅刻・欠席に対しては生活習慣の改善の必要性があると考えられる。生徒クラブ等と連携すると効果が期待できる。 ・いじめに対してしっかりと取り組んでいる印象がある。SNSについては本人・保護者の責任もあるので学校と連携して使用方法やモラルを考えてもらう必要がある。 ・いじめ対応については外部評価が低めであるが、高校生なら自浄努力も必要である。	・近年、生徒の質が変化しており、生徒指導上の重点や課題も見直していかなくてはならない。特に非社会的行動やいじめ防止など対応が難しい事案が増加しているため、今までの生徒指導体制を見直し、組織的な対応を行うのはもちろん、さらに学校だけでなく関係機関とも連携した対応を実施する。 ・人間関係づくりに視点をのぞいた学校行事やグループエンカウンター・ピアサポートなどを積極的に取り入れていく必要がある。
		②学校生活全般における身だしなみの改善・挨拶指導が十分に行われていると評価する生徒が70%以上である。	A	A	A			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①1日の平均遅刻率が0.8%以下である。 ②欠席率が2.3%以下である。	B	B	B	重点課題として取り組んできたが、遅刻率・欠席率ともに改善が見られなかった。進路を強く意識させることで、将来的な欠席・遅刻防止の意義を理解させるとともに、個々の遅刻・欠席の原因を把握して、学校全体で改善に努めたい。		
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応に努めていると評価する生徒が80%以上である。	B	B	B	生徒主体の活動にも取り組んでいるが、継続した指導が必要である。特にSNSについて、使用方法やモラルについても指導が必要である。		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考えるうえで役に立っていると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	学年や外部機関との連携により、適性理解のための進路ガイダンスや進路学習を計画的に行い、情報提供を行う機会を増加させることができた。生徒の実態を的確に把握し、進路指導の充実を図りたい。	・きめ細かい進路指導を行っている印象がある。今後も情報提供をしっかりと行い、生徒の進路実現に向けて取り組んで欲しい。 ・専門高校のため目的意識を持って入学しているため、主体的に進路に向けて取り組んでいる。指導のノウハウも蓄積しており、良好である。 ・人生を左右問題であるためきちんと向き合う必要がある。やり直しができることも教えて欲しい。	・キャリア教育の視点から進路行事の事前・事後指導を行うとともに、適性検査等の結果の活用方法を改善し、進路指導の充実を図る。 ・全職員が効果的にキャリア教育の視点で指導を行えるよう職員研修を充実させたい。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が75%以上である。 ②目標とした進路を実現できた生徒(3年生)が90%以上である。	A	B	B	諸検査の結果を職員会議で情報提供し、職員間の情報共有を深めた。今後も効果的な指導ができるよう支援の充実を目指したい。 学年と連携し、キャリア教育の視点で指導を行ったことで進路意識の向上を図ることができた。進路実現に向けた生徒の主体的な取組にまでは結びつけることができなかった。		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①PTA総会、学年保護者会等に参加している保護者が、60%以上である。 ②「学校の様子がよく分かる」と評価する保護者が80%以上である。	A	A	A	今後も連絡メール等を活用するとともに、PTA役員や学年委員と連携をとりながら保護者の参加が増加するよう工夫する。 今後もWebページ、連絡メール、マスメディア等を積極的に活用し、学校の様子を適切に情報発信する。	・市内の他校の行事と重ならないように日程調整をすることも必要だと考えられる。 ・適切に情報発信している。今後も継続して欲しい。 ・様々なイベントがあり、保護者や地域の方が来校して、楽しみながら学校を知ることができるのは、素晴らしい。	・連絡メール等を適切に活用するとともに、PTA役員、学年委員及び関係職員と情報交換し、多くの保護者が参加できるよう工夫する。 ・今後もWebページ、連絡メール、マスメディア等を積極的に活用し、継続的に情報発信を進める。

群馬県立藤岡北高等学校 学校評価一覧表① (平成31年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①地域との交流や地域への貢献を目的とした活動や行事等に生徒の85%以上が満足している。	生徒が主体的に活動できるよう目的を明確に理解させる。また、活動の充実を図るため、交流の内容を工夫・改善する。	A	B	生徒が主体的に活動に取り組めるよう、事前・事後指導を充実させ、活動の大切さを理解させる。	A	B	活動の目的を意識させるとともに、生徒が主体的に活動に取り組めるよう工夫をする。
		②農業クラブ主催の各種発表会・各種競技大会や各種のコンテストなどで4種目以上入賞する。	農業クラブ活動及び各種コンテストの意義を理解させ、専門部の活性化や知識・技術の結びつくよう、継続的な指導を実施する。	A	—	今後も専門的な知識・技術の向上のために継続的な指導を行い、専門部の活動の活発化に努める。	A	—	継続的に活動を実践するとともに、研究活動の大切さや意義を意識させ、専門学習の深化に結びつける。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と75%の生徒が答えている。	生徒の実態に応じた授業改善を図るとともに落ち着いた雰囲気での授業が実践できるよう授業規律の確保に向けた指導に取り組む。	A	A	授業規律の確保に向けた指導を継続し、生徒が学習しやすい環境作りを努めるとともに、主体的に学習に取り組む魅力ある授業を展開する。	A	A	生徒理解に努めるとともに生徒が主体的な学習活動に向けた授業改善を継続する。また、授業中の生徒指導を充実させ、落ち着いた雰囲気での授業展開を図る。
		②資格取得に向けた指導に、生徒の70%以上が満足している。	資格取得が進路実現や自分の生き方を左右する重要な要素であることを生徒及び保護者に伝えるとともに意欲的に資格取得にチャレンジする雰囲気作りを努める。	A	A	資格の内容や有用性をきめ細かく説明し、生徒に資格を取得することの重要性を理解させ、様々な検定や資格への関心を高められるよう働きかけを行う。	A	A	生徒の将来や専門性を高めるために必要な資格、検定を生徒及び保護者に分かりやすく明示し、主体的な資格取得への働きかけを実践する。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	授業や「朝学習の時間」の学習に対して、意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒が、70%以上である。	教材の選定や指導体制を工夫し、生徒がより意欲的に学習に取り組むことができる授業や「朝学習の時間」となるよう指導を強化する。	B	B	意欲的な学習により、知識や技術が身に付いたと実感できるよう、教材や指導方法等を改善し、生徒の主体的な学習活動を促進する指導を実践する。	D	B	生徒が学習に対して、意欲的に取り組むような授業の展開や身近な教材の活用などを工夫し、生徒及び職員が学習成果を実感できる指導に努める。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	職員会議・学年会議の議題として情報交換を実施し、情報を共有して組織的な指導につなげる。授業担当とさらにきめ細やかな情報交換を充実させ、組織的な指導を目指す。	A	—	各クラスの情報交換を職員会議で行っている。また、小さなことでも報告し合える環境にするために、学年・教科・コース等で情報交換ができる体制を構築して細かな生徒の状況把握に努める。	A	—	職員会議において、生徒の情報交換を行い、生徒指導に生かすことができている。さらにきめ細やかな情報交換を充実させ、効果的で組織的な指導に取り組む。
		②学校生活全般における身だしなみの改善・挨拶指導が十分に行われていると評価する生徒が70%以上である。	職員間で連携をとり、HR・授業中における指導を充実させ、登校時の挨拶運動などで身だしなみ・挨拶指導を行う。	A	A	毎朝HRでの身だしなみ指導が継続してできている。しかし、学年ごとの温度差が見られるので共通認識を再度確認する。	B	A	進路実現を踏まえた挨拶指導を継続する。また、身だしなみの指導に共通認識を持ち取り組めるように記録簿などを活用する。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①1日の平均遅刻率が0.8%以下である。 ②欠席率が2.3%以下である。	保護者との連携を強化して、生活習慣の向上を目指す。進路を強く意識させることで、将来的な遅刻防止の意義を理解させる。 きめ細やかに個々の対応を行い、原因究明から対策を考え、減少を図る。長期欠席者に対しては、教育相談係やスクールカウンセラーを活用した生徒理解と原因究明に取り組む。専門機関等とも連携し、減少を図る。	B C	— —	学校全体の重点目標であることを生徒・職員に周知する。また、面談を通して、保護者との連携を強化し、家庭での生活習慣の改善と学校での意欲的な取り組みにつながる環境作りを努め、遅刻や欠席の減少に向けた指導に取り組む。	C B	— —	個々の遅刻・欠席の原因を把握して、適切な指導を丁寧に行い、改善に努める。長期欠席者に対しては、教育相談係やスクールカウンセラー、専門機関等を活用した生徒理解と原因究明に取り組み、減少を図る。保護者との連携を強化し、協力体制を構築する。規範意識を向上させることで、将来的な欠席・遅刻防止の意義を理解させる。生徒及び保護者にいじめ防止対策について情報発信し、生徒主体の活動を進める。生徒観察に努め、職員が未然防止・早期の組織的対応をする。特にSNSの使用方法については、専門機関などと連携した指導を実践する。
6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応に努めていると評価する生徒が80%以上である。	日常的なきめ細かい生徒観察に努め、少しでも気になることがあれば早期に対応、情報共有する。特にSNSについて、専門機関などと連携して使用方法を指導する。	A	B	いじめ防止活動として生徒主体の活動を実践する。生活アンケートの結果を踏まえ、面談週間を通して生徒個々の状況を把握し、適切な対応を速やかに行う。	A	B	いじめ防止活動として生徒主体の活動を進める。生徒観察に努め、職員が未然防止・早期の組織的対応をする。特にSNSの使用方法については、専門機関などと連携した指導を実践する。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考えるうえで役に立っていると評価する生徒が80%以上である。	キャリア教育の視点に立った進路行事の事前・事後指導を行い、進路学習の内容の充実を図る。	A	A	各行事の進路行事後のアンケート結果を活かし、更なる進路学習の充実を図りたい。	A	A	生徒が主体的に進路選択ができるよう生徒の実態を的確に把握し、進路指導の充実を図る。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が75%以上である。 ②目標とした進路を実現できた生徒(3年生)が90%以上である。	適性検査や基礎力診断テスト等の結果を効果的に活用するための研修会等を充実させる。 教務部と連携し、キャリア教育の研修を実施し、学校全体でキャリアカウンセリングできる体制を構築する。	B —	A —	適性検査や基礎力診断テストの結果を職員間で情報共有し、より効果的な指導となるよう支援する。 生徒全員が進路実現できるよう組織的、継続的に指導を続ける。	B A	A A	職員間の情報共有を深め、効果的な指導ができるよう支援の充実を図る。 今後も生徒が主体的に進路選択できるよう、学校全体でキャリアカウンセリングできる体制の構築を目指す。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①PTA総会、学年保護者会等に参加している保護者が、60%以上である。	PTA総会、学年保護者会等への参加の理解を深めるために、PTA本部役員との連携を深める。また、連絡メール等を適切に活用し、参加を促す。	A	—	保護者の参加が今後も増加するよう、連絡メール等を積極的に活用するとともに保護者会等の内容を係や本部役員で検討する。	A	A	今後も連絡メール等を活用するとともに、PTA役員や学年委員と連携をとりながら保護者の参加が増加するよう工夫する。
		②「学校の様子がよく分かる」と評価する保護者が80%以上である。	マスメディアやWebページを有効に活用し、本校生徒の活動状況を積極的に発信する。	A	A	今後もWebページに活動状況を適切に掲載し、生徒の様子や活躍をより多くの情報発信できるように工夫する。	A	A	今後もWebページ、連絡メール、マスメディア等を積極的に活用し、学校の様子を適切に情報発信する。